

2020年12月期（64期）第1四半期決算

補足説明資料

ピジョン株式会社

(証券コード：7956)

2020年6月4日

Celebrate babies the way they are



目次

新型コロナウイルスに対する取り組み	P. 3 - 5
コロナ禍における各拠点のタイムライン	P. 6
コロナ禍における今後の見通し予測	P. 7
【参考】 通期の業績見通し	P. 8
【参考】 主要国のEコマース販売比率 (20/12月期 第1四半期)	P. 9

Agenda

新型コロナウイルスに対する取り組み①

当社グループは、従業員とその家族をはじめ、全てのステークホルダーの健康と安全を最優先事項とし、新型コロナウイルスへの感染拡大防止に最大限取り組んでおります。

グループ全体での感染者は無し
(6月3日時点)

各国の販売拠点・工場では、政府や地方自治体の要請・指導に基づき適切な対策を実施済

お客様

- ・妊娠中や産後ママ・パパへのSNSでの情報発信

取引先

- ・商品の安定供給(特に衛生・消毒関連商品)

社員と社会の安全 (一例)

- ・妊娠中の社員は原則在宅勤務に(日本:2月中旬~)
- ・学校休校に伴い積立休暇利用条件を緩和(日本:2月下旬~)
- ・店頭販売員活動の中断(日本:2月下旬~)
- ・社員へのマスクや消毒商品の配布(各国拠点)
- ・事務系スタッフの在宅勤務体制の構築(各国拠点)
- ・社員の雇用の維持(各国拠点)
- ・コロナ感染防止策を徹底した新しい行動様式の構築(各国拠点)
- ・休暇期間の変更(タイ。政府のソンクラン休暇期間変更に倣う)



▲食堂でも対面を避けて座る(タイ)



▲工場の消毒回数をより頻回に(トルコ)

新型コロナウイルスに対する取り組み②

当社グループは、「この世界をもっと赤ちゃんにやさしい場所にする」という存在意義のもと、私たちだからこそできる社会への活動を行っていきます。

ママや赤ちゃん、そのご家族へ（一例）

- SNSを活用したママ・パパへのお悩み相談（日本）
- 母乳育児セミナーをオンラインで実施（マレーシア）
- シンガポールで住み込みで働くマレーシア人のママのグループへ、母国に住む子供へ母乳を届けるための母乳保存バッグや搾乳器などの無償提供
- 各種SNSを通じた新生児ケアの情報提供、悩み相談やライブ配信（中国）
- 自社ウェブサイト内にコロナ禍での育児や、妊娠期を心地よく過ごすための特集ページを掲載（アメリカ）



▲オンラインの母乳育児セミナー（マレーシア）



▲ランシソウェブサイト内のCOVID-19特集（アメリカ）

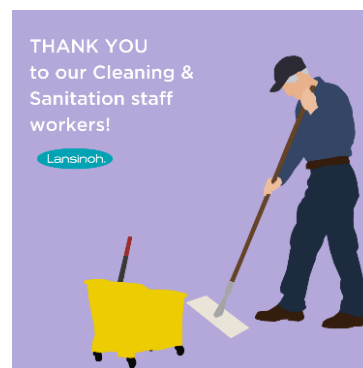


▲SNSを活用した育児情報の提供（中国）

新型コロナウイルスに対する取り組み③

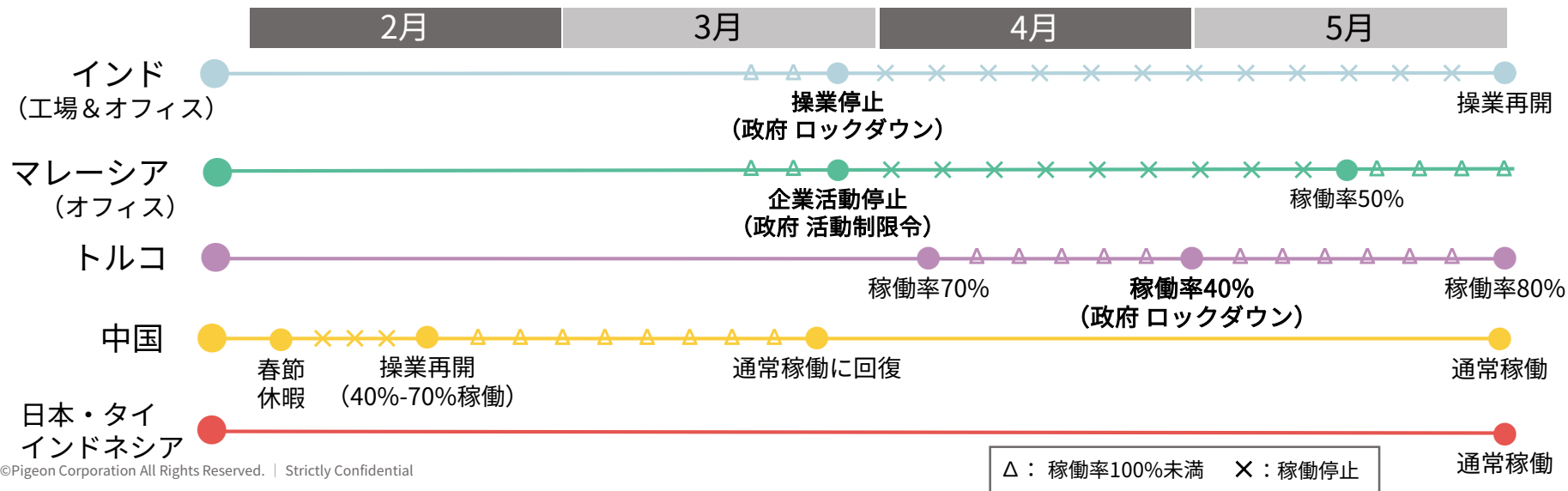
今も最前線で働き続けるエッセンシャルワーカーの皆さんへ（一例）

- ・（頻繁な手指消毒への手荒れ対策に）ハンドローションの寄付（日本）
- ・ COVID-19救援に参加する医師と看護師の家庭へベビー用品の寄付（中国）
- ・ 抗菌ハンドジェルや医療用ガウンを医療機関などに寄付（中国）
- ・（マスクの跡をケアするための）ラノリンクリームの寄付（スペイン）
- ・ ソーシャルメディア上でエッセンシャルワーカーへの感謝を伝える投稿を定期的に発信（アメリカ・ヨーロッパ）



コロナ禍における各拠点のタイムライン（5月末時点）

- 2月中旬：中国の工場2社が操業再開（40-70%の稼働）
 - 3月下旬：中国工場2社が通常稼働に回復。一方、インドとマレーシアでは政府のロックダウンが開始され、工場・オフィスともに操業停止に
 - 4月下旬：トルコ政府によるロックダウンが開始され、工場の稼働率が40%まで下がる
 - 5月下旬：インド工場の操業再開（生産再開は6月以降）。マレーシアも50%ほどの稼働まで回復
 - 日本やタイ、インドネシアの工場は、2月から5月末まで通常稼働（万全なコロナ感染防止対策を実施済）
- 世界各国の当社販売拠点は、政府の要請、指示に基づき、在宅勤務体制のもとで稼働



コロナ禍における今後の見通し予測

新型コロナウイルス感染症の収束時期はもちろん、収束後の各国の企業活動や消費動向の回復のスピードと度合いが重要要因と予測。

事業	業績への影響要因	業績への影響が小さいケース	業績への影響が大きいケース
全世界	新型コロナウイルス感染症の収束時期	各国で下半期の早い段階で収束基調	エリアによっては感染拡大、第2波、第3波の到来 物流や企業活動、個人の生活に大きな制限が継続
日本	・インバウンド需要 ・日本の消費動向	2020年下半期の早い段階から徐々に回復	2020年いっぱい停滞
中国	国内の消費動向	下期以降、消費は急激に回復し、 いわゆる「リベンジ消費」も旺盛になる	消費は回復傾向になるが、 2020年いっぱい「コロナ前」の水準には戻らない
シンガポール ・インド ・マレーシア	企業活動の制限	下期以降、通常通り企業活動が復帰	感染拡大が続き、物流や企業活動、 個人の生活に大きな制限が継続的に出る
ランシノ ・アメリカ ・ヨーロッパ	アメリカ国内、 ヨーロッパ各国の 消費動向	感染拡大に歯止めがかかり、 個人消費支出が回復基調になる	2020年いっぱい、 個人消費支出は過去最低の水準で推移する

その他の影響要因：原材料価格の高騰、取引先やサプライヤーの企業活動の回復、為替レート

【参考】通期の業績見通し

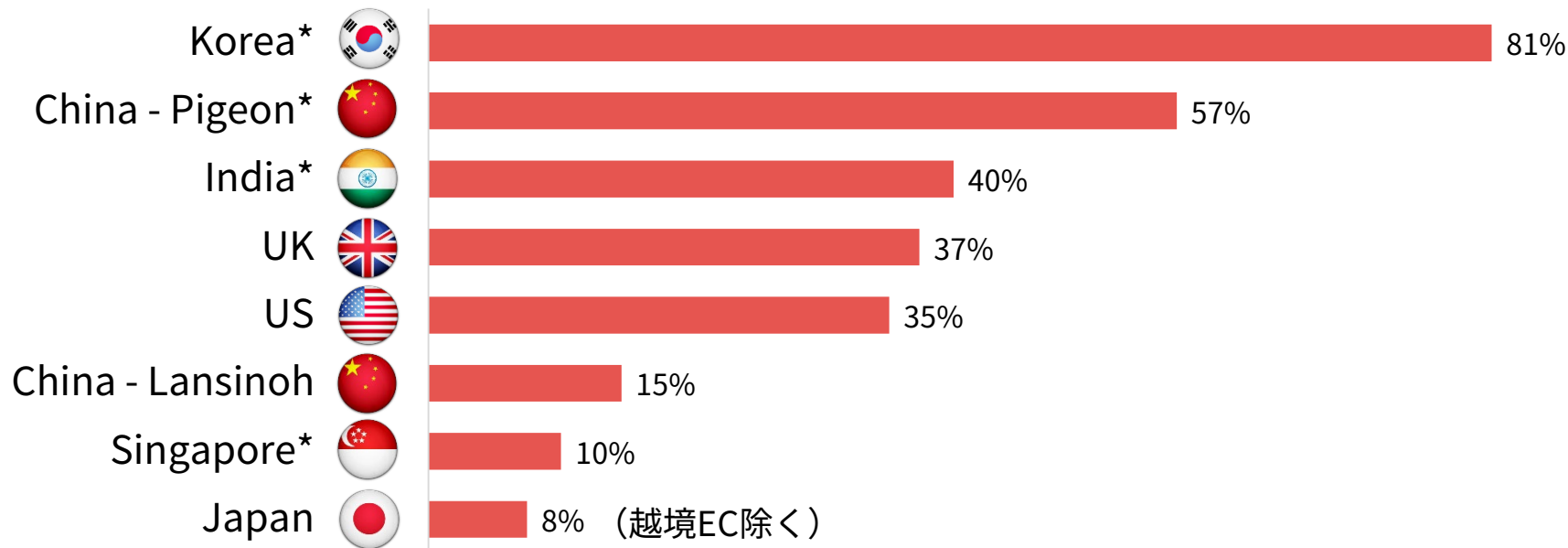
新型コロナウイルス感染症による影響は、第1四半期連結累計期間以降も続く事が予想されるため、本日時点で当社が入手可能な情報に基づき、業績予想を算出。（2020年6月4日に東証にリリース開示済）

	売上高	営業利益	経常利益	親株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 109,000	百万円 18,100	百万円 18,100	百万円 12,600	円 銭 105.23
今回修正予想 (B)	98,500~102,400	13,400~15,500	13,900~16,000	9,600~10,900	80.17~91.03
増減額 (B - A)	▲10,500~▲6,600	▲4,700~▲2,600	▲4,200~▲2,100	▲3,000~▲1,700	▲25.05~▲14.20
増減率 (%)	▲9.6~▲6.1	▲26.0~▲14.4	▲23.2~▲11.6	▲23.8~▲13.5	▲23.8~▲13.5
【参考】前期実績 2019年12月期*	100,017	17,072	17,284	11,538	96.37
【参考】前期実績 2019年12月期 (12カ月換算)	103,514	17,213	17,367	11,594	96.82

*2019年12月期に決算期を変更し、経過期間となる2019年12月期は2019年2月1日から2019年12月31日までの11ヶ月間を連結対象期間としています。

【参考】主要国のEコマース販売比率(20/12月期 第1四半期)

ピジョン・ランシノ商品のEコマース販売比率



*：セルアウト 無印：セルイン

将来見通しに関する注意事項

本資料にはピジョングループの「将来に関する記述に該当する情報」が記載されています。本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。

これら将来予測に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされたピジョングループの仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、それらの要因による影響を受ける恐れがあります。

担当部署・連絡先

ピジョン株式会社 経営戦略本部

経営戦略室

担当：金田・金塚・平塚 03-3661-4204

Celebrate babies the way they are

